



都響

音楽監督 大野和士

Principal Guest Conductor

首席客演指揮者ラスト・ステージ——！

マルティヌー&ブラームスツィクルス完結で8年間の掉尾を飾る。

Subscription Concert No.844 A Series
Mon. 11 December 2017, 19:00 at Tokyo Bunka Kaikan
Dvořák: "Othello", Overture, op.93 B.174
Martinů: Symphony No.2, H.295
Brahms: Symphony No.2 in D major, op.73



Jakub HRŮŠA

指揮

ヤクブ・フルシヤ

Subscription Concert No.845 B Series
sat. 16 December 2017, 19:00 at Suntory Hall
Martinů: Symphony No.1, H.289
Brahms: Symphony No.1 in C minor, op.68

第844回 定期演奏会

2017
A Series 12/11 (月) mon.

19:00 開演 (18:20 開場) 東京文化会館

◎ドヴォルザーク:序曲《オセロ》op.93 B.174

◎マルティヌー:交響曲第2番 H.295 ◎ブラームス:交響曲第2番 ニ長調 op.73

第845回 定期演奏会

2017
B Series 12/16 (土) sat.

19:00 開演 (18:20 開場) サントリーホール

◎マルティヌー:交響曲第1番 H.289 ◎ブラームス:交響曲第1番 ハ短調 op.68

photos:©Rikimaru Hotta

Martinů & Brahms



マルティヌー&ブラームス

“都響とは毎回新しいサウンドを実現できるのが刺激的です”

昨年12月の定期演奏会と「第九」で、2年間のギャップを感じさせない都響との良好なパートナーシップを証明した首席客演指揮者ヤクブ・フルシャ。その間にロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団でのデビューを飾り、バンベルク交響楽団の首席指揮者に任命されるなど、欧州での評価も飛躍的に上昇した。フルシャの成長を見つめてきた都響との揺るぎない絆は、彼の音楽人生の中でも大きな価値をもつと自身が語る。今年12月の定期公演のブラームス/マルティヌー・プログラム(各作曲家の交響曲第1番、第2番を同時に演奏する)では、都響とともに、さらに進化した世界観を呈示してくれるはずだ。

「12月の定期演奏会で1番と2番を演奏することで、都響とはブラームスの交響曲全曲を共演することになりますが、これには大きな意義を感じています。バンベルク響に就任して、現在ドイツのオーケストラを振っているわけですが、先に都響とブラームスの交響曲を完結することはひとつの偶然でもあり、喜びでもあります。私自身とブラームスの関係は非常にゆっくりと成熟してきていて、最初の頃のアプローチは情熱的で、熱い思いをもって豊かで芳醇な音色を目指してきました。力強くて同時にエモーショナルでもある音楽を理想としていたのです。その後、次第にストラクチャーへの興味が増し、この作曲家の作品が非常に論理的で、構造的に完璧であることが明確にわかってきました。音の一個一個、指示されたマーキングすべてに深い意味があり、計算し尽くされたものであることに気づいたのです。そうしたディティールの意味に目をとめて、リハーサルでも分析を重ねていこうと考えています。同時に、ブラームスでは豊かな感情を欠くことはできません。脳とハート、思考と感情のふたつの要素の結婚が、理想的なバランスを保つのです。都響とは過去に積み上げてきたものだけではなく、毎回新しいサウンドを実現できるのが刺激的です」

ブラームスと同時に演奏されるフルシャと同郷のチェコの作曲家マルティヌーの交響曲は、過去の演奏会では3番から6番までの4曲が採り上げられてきた。

「ブラームスの1番とマルティヌーの1番、2番と2番、という組み合わせはなかなか洒落ているし、1番と2番を並べるより、同じ数字のほうがいいでしょう？(笑) 実際には、ブラームスとマルティヌーには共通点があって、それは二人とも交響曲に着手するまで長い時間をかけていることなんです。ブラームスは35歳、マルティヌーは40歳になって初めて交響曲を書き始めています。そして、一番に着手した途端、まるでニューウェイヴがやってきたがごとく次々と交響曲を完成していくのです。満を持して書いた第1番と、怒涛の第2番というプログラミングです。性格的には、マルティヌーには音楽的感性において、アンチドイツ的などころがありました。ドイツが嫌いだったわけではなく、音楽的な感性においてです。その点では対照的な作曲家ですね」

文:小田島 久恵(音楽ライター)

Profile

ヤクブ・フルシャ(指揮)

Jakub HRŮŠA, Conductor



都響首席客演指揮者、バンベルク響首席指揮者、フィルハーモニア管首席客演指揮者、チェコ・フィル常任客演指揮者。これまでにブラハ・フィルハーモニア管音楽監督兼首席指揮者、グラインドボーン・オン・ツアー音楽監督などを歴任。ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、クリーヴランド管などへの定期的な出演に加え、フィラデルフィア管、ミラノ・スカラ座フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、バリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場などへのデビューが続いている。国際マルティヌー協会会長。

TICKET

定期演奏会Aシリーズ 2017年12月11日(月) 19:00開演(18:20開場) 東京文化会館	定期演奏会Bシリーズ 2017年12月16日(土) 19:00開演(18:20開場) サントリーホール
S ¥6,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500 Ex ¥2,200	S ¥6,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500 P ¥2,500

一般発売 7月28日(金) 10時 都響会員先行発売7月21日(金) 10時 ※発売日初日の都響ガイドは電話受付・WEBチケット受付のみ。

ご予約・お問合せ

都響ガイド

0570-056-057 (ナビダイヤル)

月～金 10～18時 / 土日祝 休み 主催公演開催日等は休業または営業時間変更となります。

都響WEB
チケット

www.tmsso.or.jp

プレイガイド

[定価のみ取扱]

◎東京文化会館チケットサービス(12/11) ————— 03-5685-0650
◎チケットぴあ(Pコード:338-979(12/11)・339-006(12/16) — 0570-02-9999
◎ローソンチケット(Lコード:32255(12/11)・32275(12/16) 0570-000-407

◎サントリーホールチケットセンター(12/16) ————— 0570-55-0017

◎イープラス ————— http://eplus.jp/tmsso/

各種割引(対象:S～C席)



シルバーエイジ割引(65歳以上・200席限定)
30%OFF



U25割引(生年月日1992年4月1日以降)
50%OFF

●マイチョイス割引 ●ハンディキャップ割引 ●都響おそ割

※いずれの割引もP席・Ex席は対象外。詳細はお問い合わせください。

託児サービス/事前予約制 ※詳細はお問い合わせください

イベント託児®マザーズ(12/11)(1歳以上)
0120-788-222(月・金:10～12時、13～17時) ¥2,000/人
公演の1週間前までにお申し込みください。

アルファコーポレーション受付センター(12/16)(生後3ヶ月以上)
0120-086-720(月・金:9時30分～17時30分) ¥2,000/人
東京都交響楽団コンサートバックとお申し付けください。
公演前営業日の16時までにお申し込みください。